

脱炭素先行地域の対象： **QURUWAエリア内の7町内会全域**(亀井一・二丁目、籠田、伝馬通一丁目、連尺通、康生通東一・二丁目、南康生、唐沢)等
 主なエネルギー需要家：戸建住宅510戸、集合住宅16棟（395戸）、民間施設302施設、公共施設7施設
 共同提案者：愛知県、三菱自動車工業株式会社

町内会の加入率が非常に高いという地域特性を活かし、中心市街地である「**QURUWAエリア**」において、町内会活動を核として太陽光発電・蓄電池を最大限導入するとともに、新設の木質バイオマス発電や既存のごみ発電を活用して、脱炭素化を実現。公用車のEV化やカーシェアリングを進め、EV製造事業者である三菱自動車と連携してEV車から回収される**バッテリー**を定置型蓄電池として住宅や防犯灯などに**再利用**するなど、**資源の有効活用**と**サプライチェーン全体の環境負荷低減**により、**産業構造の転換**を図る。

The diagram illustrates a smart city energy network centered around '岡崎さくら電力' (Okazaki Sakura Electric). The network is divided into several key areas:

- エリア内住居 (In-area housing):** Features smart homes and energy systems, including solar power and smart meters, connected to a central smart energy hub.
- エリア内民間施設 (In-area private facilities):** Includes various public and private buildings such as shopping malls, schools, hospitals, and government offices, all integrated into the smart energy network.
- バイオマス発電 (Biomass power generation):** A dedicated biomass power plant contributing to the city's energy supply.
- 中央クリーンセンター (ごみ発電) (Central Clean Center (Waste-to-Energy)):** A waste-to-energy plant that generates power from municipal waste.
- 中央総合公園 (災害活動拠点) (Central Comprehensive Park (Disaster Activity Base)):** A park area that serves as a disaster activity base, equipped with solar power and smart energy systems.
- 民間事業者敷地 (Private business site):** A private business site that generates power, contributing to the city's energy supply.

The entire system is interconnected by a central power line, and the network is supported by 'エネマナ 連携' (Enema Network Collaboration) technology.

- ① 公用車(98台)をEV・PHEV・FCVに順次更新し、休日はカーシェアリングとして市民や観光客に貸し出すほか、事業者にはEV・充電設備の導入支援を行い、**ゼロカーボンドライブ**の実現に繋げる
- ② 中心市街地エリアにグリーンスローモビリティ(10台)を導入することで**渋滞緩和**を図るとともに、**ウォークブルなまちづくり**を実現

- ① 町内会加入率が非常に高いという地域特性を活かし、脱炭素を通して住民、企業、行政が一体となったまちづくりを行うことにより、多様な主体が協働・活躍できる**地域をともに創っていく社会**を実現
- ② 公用車のEV化やカーシェアリングを進めるとともに、EV製造事業者である三菱自動車と連携し、リユースバッテリーを住宅や防犯灯などへの活用することで、**資源の有効活用・産業構造の転換**を図る

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
		住宅への太陽光・蓄電池・省エネ導入						
		事業者への太陽光・蓄電池・省エネ導入						
	オフサイト太陽光発電導入							
			木質バイオマス発電導入					
EVカーシェア事業			EV・PHEV・FCV導入					
グリッド導入								